

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成28年(2016年) 6月の出来事
～ 地元報道より～

南三陸町

- ◇「町長出前トーク」の今年度1回目が、入谷地区のNPO法人びば！南三陸のコミュニティセンター「ハレバーレ」で開催された。団体ではシルバー人材の再建を目指し、佐藤仁町長はシルバー人材の再開支援を約束した。
- ◇南三陸町地方卸売市場(志津川魚市場)が6月1日に落成式があり関係者150人が集まり祝った。高度衛生管理型の市場として、水産物に新鮮などの付加価値を付け、今後はブランド化を目指す。
- ◇国土地理院は東日本大震災で沈下した地盤が隆起している事により、水準点を年内に再測量し、防潮堤高の見直しをおこなう。
- ◇熊本地震への心のケア支援として、県教委は南三陸町の志小・志中から主幹教級の教師を各1人ずつ長期派遣する。
- ◇南三陸町立戸倉小学校(山内順校長)で、東京フィルのメンバー5人が訪れ、文化芸術による子供たちの教育事業を開催した。音楽のワークショップとして、一流の音楽と児童たちが交流した。
- ◇南三陸町に、交通事故死亡ゼロが2年を迎え、知事より褒状を贈られた。合併後初めての受賞となった。
- ◇気仙沼人権擁護委員会協議会は、南三陸町入谷地区の復興住宅住民と懇談会を開いた。協議会は「悩み事があれば相談を」と呼びかけた。
- ◇志津川小学校で南三陸町のサッカーチーム・愛好家が60人集まり、サッカーJ1の7選手が、サッカースクールをおこない、プロとのミニゲームで交流した。
- ◇三陸道の開通予定は、三滝堂ICから「志津川

IC」「南三陸海岸IC」までは28年度内の開通予定で、「歌津IC」は29年度と「歌津北IC」が30年度を予定している。その以北は未定ながら、本吉一大谷間の4kmが30年度見通しと石井国交相は菅原市長に話した。

◇南三陸町防災会議は土砂災害警戒区域に、新たに町の中心部の山根城場地区の5ヵ所を指定した。◇ハローワーク気仙沼の来年卒業の高校生の就職状況は、就職希望者が40人減少し、地元には90人が就職の意向を示している。

◇南三陸警察署は震災から5年3カ月の10日、歌津地区で「小さな手掛かりでも」と不明者捜索をおこなった。

◇南三陸町は、志津川湾で1年未満の未産卵マガキ「あまころ牡蠣」の量産化に成功し、出荷が最盛期を迎えている。

◇宮城県漁連はホヤの東京電力福島原子力発電所の事故の風評被害者への賠償請求を検討している。唐桑から牡鹿半島までの区域が、韓国にホヤを輸出できず未収穫となっている。今後養殖業者を対象に会議を開く。

南三陸町は、移住者の受け入れを推進するため、委託事業者を公募する。総合支援業務として、情報収集・調査・ホームページなどで、PRをする業務。契約締結から32年3月31日まで、契約金額は5730万円とした。

◇南三陸消防署は、激しい降雨による河川の氾濫を想定した「防水訓練」を7日実施。アリーナ法面を利用し、迅速・的確な対応を訓練で確認した。

◇南三陸町は、22年度までの町営住宅家賃や学校給食費・公民館使用料など、震災で債権者が特定できず、債権4600万円を放棄する。

◇県漁協志津川支所は、民間団体からアワビの稚貝8100個の支援を受け放流した。震災後は個数・量とも減少している中で、志津川湾の漁獲量の回復を漁協は期待している。

◇南三陸町の平成の森野球場改修事業の2億6400万円を議会で可決した。内容は内野のグラ

ンド・人工芝の整備・フェンクの入れ替えなどを行う。その他にも名足小プール建設1億2千万円、志津川中央区に移転する志津川保育所の設計委託料3千万円など、合計で約27億円の追加補正予算を議会で可決した。

◇歌津地区の「平成の森あづまーれ」で、平成23年12月から25年10月までの歌津地区の仮設で撮影された写真の展示会が、25日まで開催された。

◇ホヤの養殖業者に対し、電原が販売で売れ残った「原発風評被災」のホヤを、補償する事が決まった。

南三陸町ではふるさと納税に対し、「海産物ギフト」を返礼品として納税者に送っていた。今回から新たな返礼品の「みなさとクーポン」の発行を開始する。納税5千円から1万円以下で1枚が進呈される。町内でのキラキラ丼1食やまゆ細工などの体験もできる。その他1泊2食宿泊プランなどもある。新しい「ふるさと納税返礼」による交流人口の増加が期待される。町への納税額は、26年は603件2400万円、27年度は1103件3200万円と減少している。

◇本吉・気仙沼地区高校陸上大会で初めて気仙沼高校の佐藤皇史郎選手が、男子100mでインターハイに出場する。

◇石巻市の県漁協の会議で、今季2万トンのホヤのうち、1万4千トンが廃棄処分となった。県内で廃棄する量の最も多いのは、石巻地区の6400トン次いで南三陸地区の4700トン、気仙沼地区の50トンだった。

◇南三陸町の災害公営や防集事業の復興交付金の1億6435万円が認められた。気仙沼市は59億0660万円が交付された。

◇歌津婦人会では、柘沢復興住宅(20戸)で「お茶飲み会」を開催し、入居者と共に演奏に合わせて合唱し、楽しい一時をすごした。

◇JAN南三陸の通常総代会が28日開催され、米穀の取扱高が1億5500万円と計画を3%上回った。TPPに関しては、議論を求める議決がなされた。

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

6月の出来事

気仙沼市

- ◆気仙沼市は、人口対策や産業振興など、地方創生に包括連携協定を締結で結束した。市と商工会議所・信用金庫の「産官金」で、ノウハウ・ネットワークを共有する。
- ◆気仙沼市は、集合・長屋・戸建ての「災害公営住宅」の空き室解消の募集をする。総戸数は233戸で、鹿折が71戸と1番多い募集数となっている。
- ◆気仙沼市の「災害FM」は生放送の時間を5時間に拡大した。現在運営は「NPO法人気仙沼まちづくりセンター(今野龍紀理事長)」がおこなっている。南三陸町でも「FMみなさん」があったが、おしまれながら放送は終了している。
- ◆気仙沼市内で仮設店舗に対し、昨年10月に260事業所にアンケートを取った。現時点で57店舗が、再建先が未定となっている。市内の区画整理事業が8月以降に本格化し、順次退去の期限となっている。
- ◆気仙沼市は27年度ニホンジカ600頭を捕獲し、前年の倍となった。近年農産物の食害に農家は頭を痛めている。

気仙沼市は人口対策として、婚活の催しのイベントや企画に補助金を交付する事業を行う。19～49歳の男女1万9643人に対象のアンケートを実施し、22%の回収を得た。結果は異性がないが全体で64%となり、独身男性の7割は「彼女なし」で、男性の72.9%は全国的にも高い。

◆気仙沼産業まつりの恒例となっていた「ジャンボ鉄火巻き」が、海苔組合で人手不足と予算

不足により、10月23日の鉄火巻きのイベントが取り止めとなった。

◆気仙沼市は復興事業の人手不足と、定年退職の50人の補充分として、来年度採用者を今年より16人も増やし45人を予定している。

◆気仙沼市の防災集団移転事業で95%が引き渡しを終えた。キャンセルなどが50区画あり、再募集を行う。

気仙沼市は人口対策として、婚活の催しのイベントや企画に補助金を交付する事業を行う。19～49歳の男女1万9643人に対象のアンケートを実施し、22%の回収を得た。結果は異性がないが全体で64%となり、独身男性の7割は「彼女なし」で、男性の72.9%は全国的にも高い。

◆気仙沼市の防災集団移転事業で95%が引き渡しを終えた。キャンセルなどが50区画あり、再募集を行う。

◆気仙沼市立鹿折公民館の講座「ししじお」がスタートした。三陸ジオパークのジオポイントで、砂金採りを体験し歴史を学んだ。

◆東日本大震災の津波で行方不明となっていた、気仙沼水産試験場の調査船「海翔」が宮古島で発見され、5年3カ月ぶりに8日帰ってきた。今後は海流循環の学習教材として活用される。

◆気仙沼市は青少年補導員の巡回が必要不可欠と、65人に委嘱状を交付した。

◆気仙沼市の国保加入が合併後初めて、加入率が3割(28.4%)を切る。加入の4割が高齢者で給付は増加している。理由として、事業所の再開にあたり、国保から社保への移行がある。

◆国内最大の客船「飛鳥II(5万142t)」が8日、寄港地としてオプションツアーで気仙沼を訪れた。750人のうち36人が気仙沼ツアーに参加し、「フカヒレすし」などを味わった。今後はツアーの定着により、観光振興にも効果が期待

される。

◆県議会の6月定例会で気仙沼出身の畠山和純議員の出質で、被災地の仮設店の鮮魚販売の規制の緩和を村井知事に求めた。地域復興を後押しする、畠山県議の意見に対し年度内に結論を出すと答えた。

《公営復興住宅移転見本》

住所移転のお知らせ

謹啓 残暑の候 御家族皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。この度左記の住所に移転致しました。南三陸町での生活再建を目指し、志津川東地区の公営復興住宅を今後の安住の地と決めました。お陰様で過日の引き渡しとなり、引越しも無事に終わりました。今後、今まで以上のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。失礼ではございますが書中にて御礼と転居の挨拶にかえさせて頂き、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。 敬具

平成二十八年十月

新住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田〇〇一〇〇
公営復興住宅〇棟〇〇〇〇
宮城太郎

他にも戸建て用など、あります。

千葉総合印刷株式会社
☎(0226) 46-3069